

清川二丁目プロジェクトについて

1 概 要

清川二丁目用地（旧東京北部小包集中局跡地）の活用（以下「清川二丁目プロジェクト」という。）については、現在、優先交渉権者であるイオンリテール株式会社（以下「イオン」という。）との基本協定締結に向け協議を行っている。

また、清川二丁目プロジェクトの基本構想策定に取り組んでおり、「賑わい・交流に資する地域交流機能（以下「地域交流機能」という。）」の検討にあたり、区民等の意見を広く聴取することを目的に、アンケートや地域との意見交換会を実施した。

2 地域交流機能に係る区民への意見聴取について

（１）区民アンケート（区内全域）

ア 実施概要

実施期間	令和 7 年 7 月～ 8 月
対 象 者	13 歳以上の区内在住者 3, 0 0 0 人（無作為抽出）
実施方法	郵送配布／郵送または LoGo フォームによる回答
回答者数	9 7 8 人（回答率：3 2. 6 %）

イ 結果概要 別紙

① 地域交流機能としてのスペースの重要度

○「とても重要」及び「重要」と回答した割合は以下の順で多くなっている。

- ・子供がのびのびと様々な遊具で遊べるスペース（7 8 %）
- ・カフェ・レストランなど飲食ができるスペース（7 8 %）
- ・運動やスポーツなどに利用できるスペース（7 1 %）
- ・くつろぎながら様々なジャンルの本が読めて、飲食や会話もできる図書スペース（6 8 %）
- ・憩いの場として気軽に談話などができるフリースペース（6 5 %）

○居住地域別で見ると、北部地域を除く全地域で、「子供がのびのびと様々な遊具で遊べるスペース」の「とても重要」及び「重要」と回答した割合が最も多い。一方、北部地域では「カフェ・レストランなど飲食ができるスペース」の同割合が最も多い。

○家族構成別で見ると、単身及び2世代は「子供がのびのびと様々な遊具で遊べるスペース」、夫婦のみ及び3世代は「カフェ・レストランなど飲食ができるスペース」の「とても重要」及び「重要」と回答した割合が最も多い。

○年代別で見ると、子育て世代にあたる30歳代・40歳代では「子供がのびのびと様々な遊具で遊べるスペース」、10歳代では「個人やグループで利用できる学習スペース」、20歳代では「カフェ・レストランなど飲食ができるスペース」の「とても重要」及び「重要」と回答した割合が最も多い。

② 施設の整備における工夫の重要度

○「とても重要」及び「重要」と回答した割合は以下の順で多くなっている。

- ・避難所や防災備蓄倉庫等、災害時に役立つ施設(94%)
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設(90%)
- ・子供から大人まで多世代が利用できる施設(88%)
- ・子供連れが安心して利用できる施設(86%)
- ・居心地が良く、ゆったりと滞在できる施設(85%)

○「避難所や防災備蓄倉庫等、災害時に役立つ施設」、「バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設」は、地域を問わず、幅広い年代や家族構成で「とても重要」及び「重要」と回答した割合が多い。

③ 施設を利用する場合の主な交通手段

○自転車(41%)が最も多く、次いでバス(21%)、徒歩(18%)となっている。

(2) 地域との意見交換会(周辺町会)

ア 実施概要

参加者数	令和7年8月29日(金)	石浜3丁目町会 14名
	令和7年9月 6日(土)	清川町会 6名
		石浜一丁目町会 5名
		石浜2丁目町会 11名
実施方法	グループ形式による意見交換	
主な内容	①新しい施設に整備してほしい機能 ②施設整備にあたって工夫してほしいこと	

イ 結果概要

① 新しい施設に整備してほしい機能

- ・孫を連れて遊べるような場所が区内には少ないので、小さい子供が屋内で遊べるような遊び場を整備してほしい。
- ・子供が運動できるスペースがほしい。
- ・飲み物等を飲みながら、ゆっくり本を読んで滞在できるようなスペースがほしい。
- ・多目的に利用できる施設にしてほしい。
- ・一人暮らしの高齢者が多いので、習い事等出かけたくなるような場所がほしい。
- ・シニアの方の集いの場になるといい。
- ・気軽に行ける飲食店がほしい。

② 施設整備にあたって工夫してほしいこと

- ・緑化や太陽光パネルの設置等、環境に配慮した施設にしてほしい。
- ・エレベーターやエスカレーター等、バリアフリーに配慮した施設にしてほしい。
- ・避難所等、災害時に役立つ機能を設けてほしい。

③ その他

- ・若い世代や子育て世代が、北部地域に住みたいと思ってもらえるような、魅力的な施設ができるといい。
- ・地域のイベントにイオンも参加してほしい。

3 今後の予定

令和7年10月	意見交換会（橋場一丁目町会・橋場二丁目町会）
令和7年第4回定例会	企画総務委員会（清川二丁目プロジェクト基本構想 中間のまとめ）
令和8年第1回定例会	企画総務委員会（清川二丁目プロジェクト基本構想 最終案）
令和8年3月	清川二丁目プロジェクト基本構想策定 イオンとの基本協定締結

清川二丁目プロジェクトに関するアンケート結果概要

1 実施概要

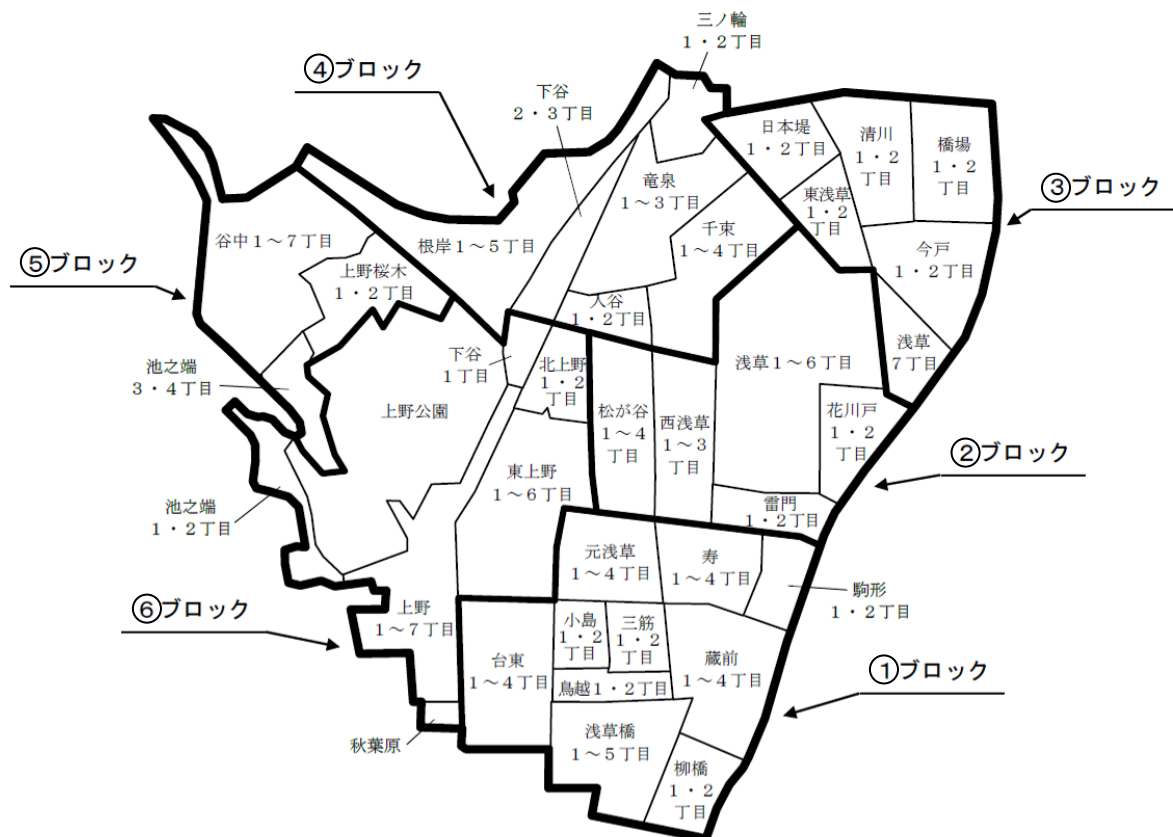
「賑わい・交流に資する地域交流機能」の検討にあたり、区民の意見を聴取し今後の検討の参考とすることを目的に、アンケートを実施した。

対象	13 歳以上の区民から 3,000 人を無作為抽出	
手法	調査票（紙配布、URL 付き）を配布し、紙返送による回答と Logo フォームによる Web 回答の選択制とした。	
回収状況	回答者数：978 人（回答率 32.6%）【内訳】紙返送 624 人／Web 回答 354 人	
調査項目	設問 1 属性（1 つ選択）	
	小問	・性別（男性、女性、その他） ・居住地域（6 ブロック ※5 ページ参照） ・家族構成（単身、夫婦のみ、2 世代、3 世代、その他） ・年代（10 歳代、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳代、80 歳代以上）
	設問 2 賑わい・交流に資する地域交流機能としてのスペースの重要度（とても重要～重要でないの 5 段階で選択）	
	小問	(1) くつろぎながら様々なジャンルの本が読めて、飲食や会話もできる図書スペース (2) 運動やスポーツなどに利用できるスペース (3) 防音設備があり、楽器の演奏などに利用できるスペース (4) 工作などのものづくりができる機器を備えたスペース (5) 子供がのびのびと様々な遊具で遊べるスペース (6) 個人やグループで利用できる学習スペース (7) テレワークや打合せなどの仕事に利用できるスペース (8) 町会の会合やサークル活動など、地域活動に利用できるスペース (9) カフェ・レストランなど飲食ができるスペース (10) 憩いの場として気軽に談話などができるフリースペース (11) 地域の歴史や文化、産業などの魅力を紹介するスペース
	設問 3 施設の整備における工夫の重要度（とても重要～重要でないの 5 段階で選択）	
	小問	(1) 居心地が良く、ゆったりと滞在できる施設とすること (2) 子供から大人まで多世代が利用できる施設とすること (3) 様々な用途で活用できる多機能な施設とすること (4) 子供連れが安心して利用できる施設とすること (5) 色彩や高さなど、周囲の建物や街並み・景観と調和した施設とすること (6) 再生可能エネルギーの利用や緑化等、自然環境に優しい施設とすること (7) バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設とすること (8) 避難所や防災備蓄倉庫等、災害時に役立つ施設とすること
	設問 4 施設を利用する場合の主な交通手段（1 つ選択）	
	・自家用車 ・自転車 ・バイク ・バス ・タクシー ・徒歩 ・その他	
	設問 5 その他自由意見	

居住地域

ブロック	該 当 町 丁 目
①	柳橋1・2丁目、浅草橋1～5丁目、蔵前1～4丁目、台東1～4丁目、小島1・2丁目、鳥越1・2丁目、三筋1・2丁目、元浅草1～4丁目、寿1～4丁目、駒形1・2丁目
②	松が谷1～4丁目、西浅草1～3丁目、雷門1・2丁目、浅草1～6丁目、花川戸1・2丁目
③	今戸1・2丁目、浅草7丁目、東浅草1・2丁目、清川1・2丁目、日本堤1・2丁目、橋場1・2丁目
④	千束1～4丁目、竜泉1～3丁目、三ノ輪1・2丁目、入谷1・2丁目、下谷2・3丁目、根岸1～5丁目
⑤	上野桜木1・2丁目、谷中1～7丁目、池之端3・4丁目
⑥	上野1～7丁目、秋葉原、東上野1～6丁目、北上野1・2丁目、下谷1丁目、池之端1・2丁目、上野公園

図 地域区分図

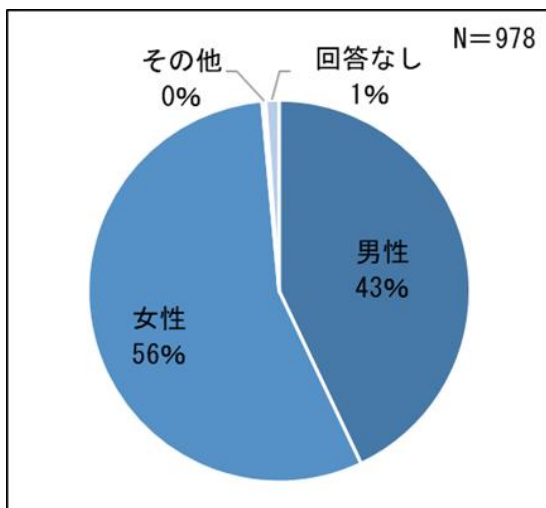


2 結果概要

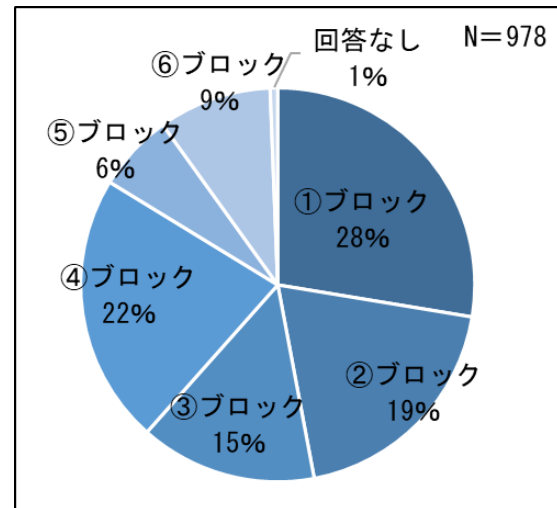
(1) 属性

- ・回答者の性別は「男性 (43%)」、「女性 (56%)」でやや女性の回答者の方が多い。
- ・居住地域は、「①ブロック (28%)」が最も多くみられた。次いで、「④ブロック (22%)」、「②ブロック (19%)」が多くみられた。清川二丁目用地が位置している「③ブロック」の回答者は15%となっている。
- ・家族構成は、「2世代(親・子) (41%)」が最も多くみられた。次いで、「単身 (26%)」、「夫婦のみ (26%)」が多くみられた。
- ・年代は、「50歳代 (21%)」が最も多くみられた。次いで、「40歳代 (19%)」、「30歳代 (15%)」、「60歳代 (15%)」が多くみられた。

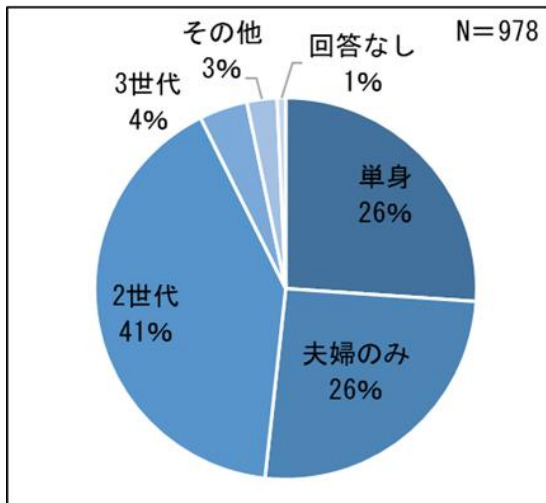
・性別



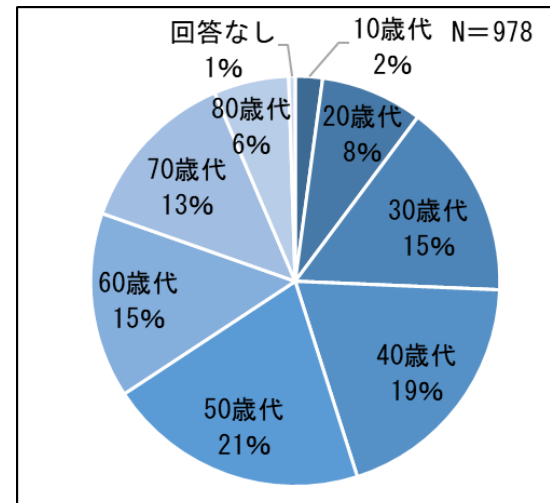
・居住地域



・家族構成



・年代

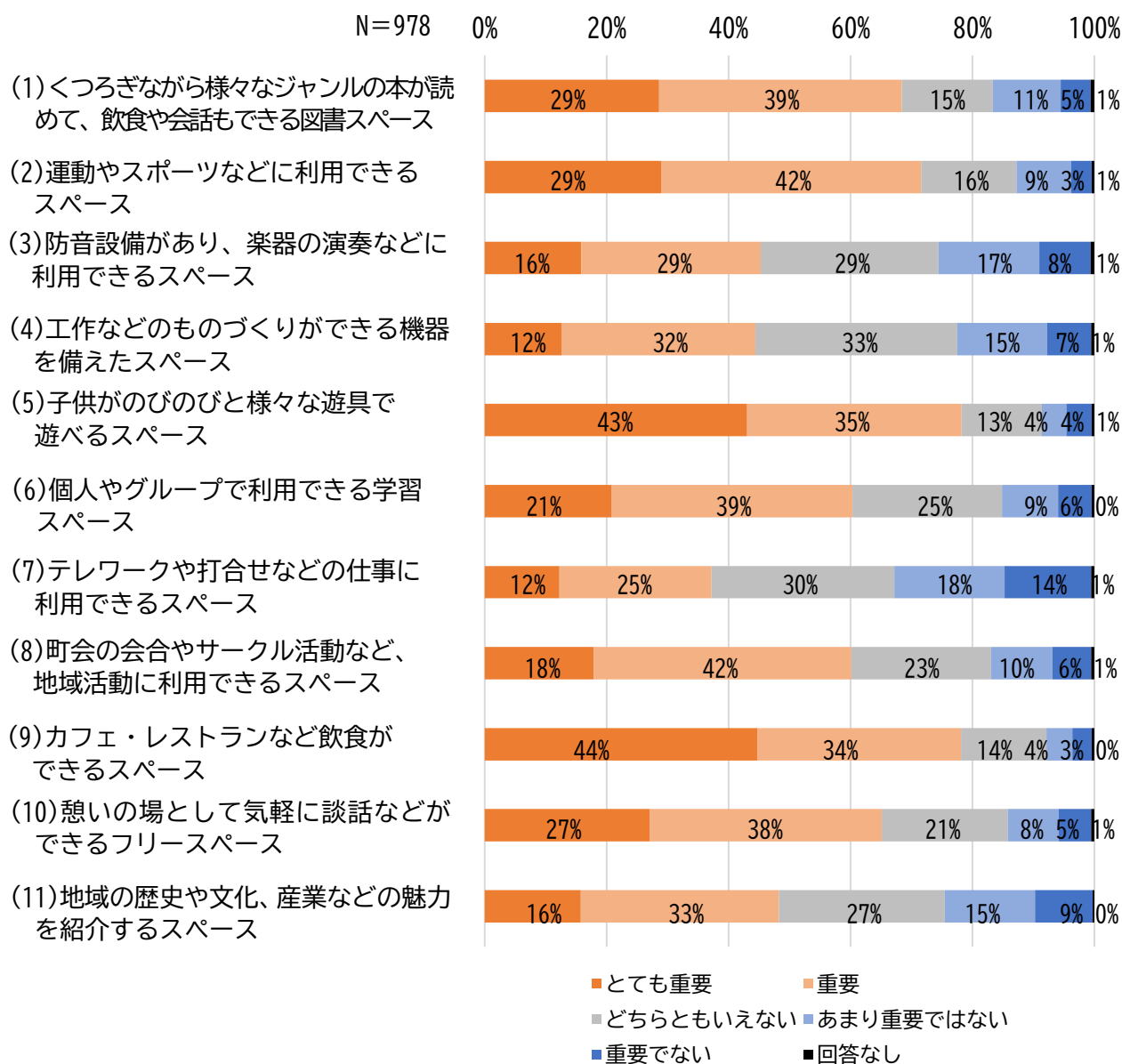


※回答の比率(%)は、全て百分比で表し、小数第一位を四捨五入した。そのため、回答の比率の合計が100%に満たない、又は上回ることがある。(以下同じ)

(2) 地域交流機能としてのスペースの重要度

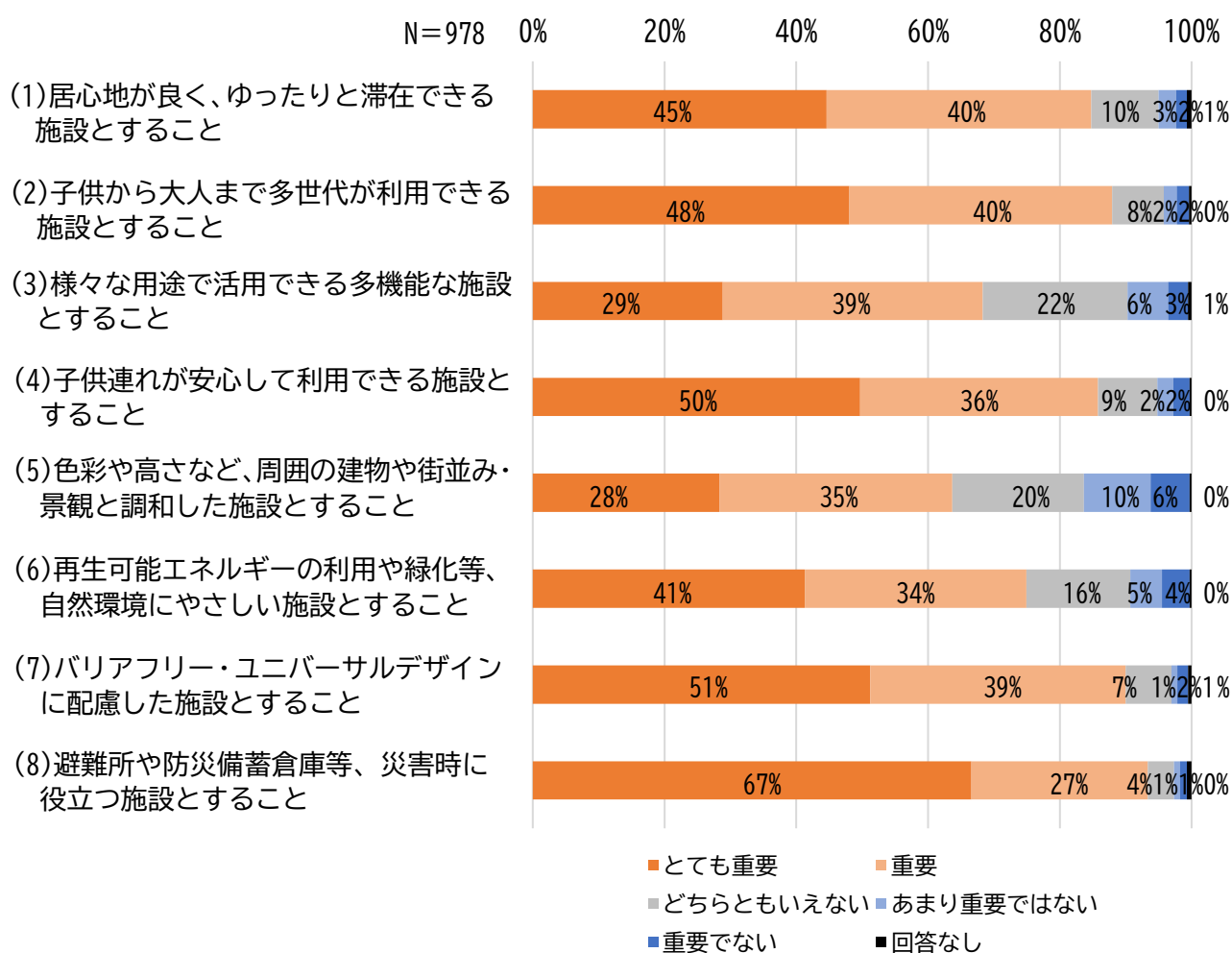
・(1)～(11)の選択肢のうち、「(5)子供がのびのびと様々な遊具で遊べるスペース (78%)」、「(9) カフェ・レストランなど飲食ができるスペース (78%)」、「(2) 運動やスポーツなどに利用できるスペース (71%)」の順で、「とても重要」及び「重要」の回答割合が高く 70%を超えている。

・次いで、「(1)くつろぎながら様々なジャンルの本が読めて、飲食や会話もできる図書スペース (68%)」、「(10)憩いの場として気軽に談話などができるフリースペース (65%)」、「(6)個人やグループで利用できる学習スペース (60%)」、「(8)町会の会合やサークル活動など、地域活動に利用できるスペース (60%)」の順となっている。



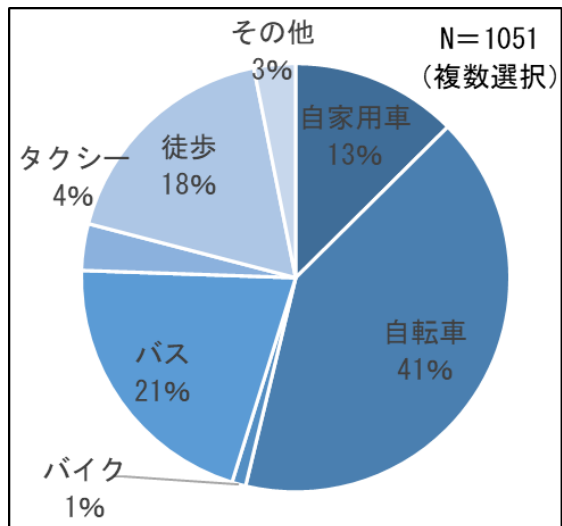
(3) 施設の整備における工夫の重要度

- ・ (1)～(8)の選択肢のうち、「(8)避難所や防災備蓄倉庫等、災害時に役立つ施設 (94%)」、「(7)バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設 (90%)」、「(2)子供から大人まで多世代が利用できる施設 (88%)」、「(4)子供連れが安心して利用できる施設 (86%)」、「(1)居心地が良く、ゆったりと滞在できる施設 (85%)」が「とても重要」及び「重要」の回答割合が高く 80%を超えている。



(4) 施設を利用する場合の主な交通手段

・交通手段としては、「自転車(41%)」が最も多くみられた。次いで、「バス(21%)」、「徒歩(18%)」が多くみられた。



※設問4では、代表的な交通手段を1つ選択する回答方式としたが、紙返送の回答では複数回答者がいたため、複数回答による集計とした。

(5) その他主な自由意見

【交通手段に関すること】

- ・交通がとても不便な場所なので、駐車場は必要台数を確保して下さい。
- ・交通の便をよくしてほしい。せっかくなので行ってみたいです。
- ・立地的にアクセスが良くないので、めぐりんの停留所の新設や駐車場や駐輪場スペースを十分に確保するなど、人が集まる利用しやすい施設にしてください。
- ・シェアサイクルポート等があれば、アクセスしやすいです。
- ・2時間無料の駐輪場があると、利用しやすいと思います。

【施設の機能に関すること】

- ・周辺に飲食やカフェなど少ないので出来ると嬉しいです。保育園や小学校など子供が多い地域なので学習関連もあると賑やかになると思います。
- ・どんな天候でも、のびのびとスポーツが楽しめる空間が増えることが必要と考える。
- ・乳児から中高生まで、子供の居場所になるようなスペースが良い。(学習、遊び、フリースペース)
- ・外でも遊ぶ所が減っているので、大人より子供のためのスペースを考えてほしい。
- ・夏が暑いので、施設の中で子供たちが遊べる場所があると良いです。
- ・図書館のように本を読みながら、子供達の遊ぶ様子が見れるようなスペースがあれば良いと思います。最近は、猛暑で外遊びができないため、エアコンのある室内での親子の居場所も必要ではないでしょうか。
- ・何かしら自主学习スペースができるとよいと感じている。

【治安・環境・防災】

- ・施設内の治安にも留意していただき、各年代が通いやすく、過ごしやすい環境となると良いかと考えます。
- ・自然を生かしたスペースが望ましいです。樹木を植えたり、芝生を植えたりとほっとするようなスペースが良いです。
- ・環境や周囲の街の景観に合ったものができるとよいなと思います。
- ・子供や高齢者が利用しやすいバリアフリーは重要です。災害時の避難場所などにも期待しています。
- ・災害時には台東区内だけでなく隣接地域の避難者も想定されるため、災害対策の機能をお願いします。

【施設の運営に関すること】

- ・本来使って欲しい人が気持ちよく使える施設であって欲しいですし、その為に有料対応といったことも賛成です。